

**凸版印刷、「SAM Sustainability Award 2020」で  
2年連続「ブロンズクラス」に認定**

サステナビリティに関する取り組みが RobecoSAM 社より高く評価され 2 年連続認定  
「Commercial Services & Supplies」セクターにおける日本企業唯一の受賞

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、世界の代表的な ESG 投資評価企業であるスイスの RobecoSAM 社による「SAM Sustainability Award 2020」の「Commercial Services & Supplies(商業サービス・用品)」セクターにおいて、スコア 54 点以上かつ上位 10%に入る企業に与えられる「ブロンズクラス」に 2 年連続で認定されました。また、同セクターでの日本企業の受賞は凸版印刷が唯一となり、これも 2 年連続となります。

RobecoSAM 社は毎年、世界中の企業を対象として、「経済」「環境」「社会」の 3 分野から企業の持続可能性を評価し、特に優れた実績のある企業に対して格付け・表彰を実施しています。2020 年においても、世界 4,710 社の企業が評価対象となり、ブロンズクラスは 85 社が受賞しています。

凸版印刷は、特に「気候戦略」「環境報告」など「環境」分野に関する取り組みについて高い評価を獲得したことが、今回の認定につながりました。

**■ 凸版印刷のサステナビリティへの取り組み**

凸版印刷は、「国連グローバル・コンパクト」を活動の原則、組織の社会的責任に関する国際規格「ISO26000」を活動の指針、「SDGs(持続可能な開発目標)」を活動の目標として取り入れ、サステナビリティにかかわる活動を展開しています。また「健康・ライフサイエンス」「教育・文化交流」「都市空間・モビリティ」「エネルギー・食料資源」を成長領域と位置づけ、社会的課題を認識し、その解決に向けて取り組んでいます。

さらに 2019 年 11 月に策定・公表した「TOPPAN SDGs STATEMENT」では、SDGs への貢献を宣言。ステークホルダーとともに、社会的価値創造企業になることを目指し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを強化しています。

\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上